



木山小学校だより

<教育目標> やさしく かしこく たくましく

そま ひと
杣人

第8号 令和7年10月24日

新潟市立木山小学校
〒950-2252 新潟市西区谷内1886番地
TEL. 025-239-2044 FAX. 025-239-3807

感性を働かせながら

校長 寺田 武文



「深い深い海の底に、カプリンという魚が住んでいた。カプリンは大きな魚だ。おもしろい形をしている。そしておしゃれた。だから人気者だ。・・・」

9月半ば、1、2年生の図工の時間。授業者が子どもたちにお話を読み聞かせていました。子どもたちは、集中して静かに聞き入っています。お話を読み聞かせた後、子どもたちに訊ねました。「カプリンはどんな魚？」子どもたちからは「おもしろいかたち」「おしゃれ」「にんきもの」など次々に反応が返ってきました。

「どんな 色？ もよう？ 形？」視点を変えながら子どもたちの想像をさらに膨らませていきます。次に実際に画用紙を使いながら、大きく描くことや、模様を工夫することなど描き方について見通しをもたせます。最後に「自分だけのカプリンを描きましょう。」と呼びかけると、子どもたちは一斉に描き始めました。途中、「ひれ」をつけたり、「ぼうし」をかぶせたり、「もよう」を工夫したりと、特徴的な描き方をしている児童を何人か紹介しました。一貫しているのは、子どもたちの感性や想像力を否定せずに、ほめていく姿勢です。授業も終わりに近付いた頃、ほとんどの子どもたちが「自分だけのカプリン」を形にし、友達とうれしそうに見せ合う様子がありました。わずか45分間の授業でしたが、すでに、七色にかがやく個性豊かな「カプリン」が泳ぐ姿がイメージできました。

現行の学習指導要領が改定される際に、図画工作の目標の中に「感性を働かせる」という文言が加わりました。図画工作は、色や形に対して感性や想像力を働かせ、自分ならではの独創的な作品を創り出すことが大切です。子どもたちが自ら表現したいことを見つけ、想像を広げられるよう、授業者は一方的に教え込むのではなく、子どもたちの主体性を引き出す工夫をしています。

11月1日（土）に予定されている「スマイルフェスティバル」の目玉は、スマイル班での出店と子どもたちが一生懸命描いた作品展です。是非、ご来校いただき、子どもたちが表現する喜びを感じ、感性を働かせて描いた作品をご覧くださいと思います。皆様のお越しをお待ちしております。



木山小ブログ

日々、子どもたちの日常を情報発信しています。

URL : <https://blog.city-niigata.ed.jp/superkiyama/>

